3月定例会

特別職非常勤職員の報酬を減額する条例改正

否決

内容

審議会などの委員で学識経験者以外の人について報酬を見直す。その対象は446人で、予算額にして約420万円を減額する。

討論

反対

報酬、費用弁償を見直すことは必要と考えるが、活動内容を調査しないで一律にカットするのは疑問である。

賛成

医師、弁護士など学識経験者の拘束時間に対する費用は考えるべきで、一般公募委員との差はあってしかるべきと考える。

人権擁護委員に多々良章子氏

適任

人権擁護委員については、平成17年7月1日就任から23年6月30日で2期目の任期満了を迎える多々良章子氏の再任を適任とした。

副町長の選任

不同意

3月31日の任期満了に伴う副町長の選任同意は、賛成少数で不同意とした。

町長に対して、行政処分取消請求裁判の政治責任明確化に関する決議

可決

内容

元職員からの行政処分取消請求控訴事件で、大阪高等裁判所の判決は裁量権の濫用による慰謝料の支払いを命じた。

町民に対して謝罪し、自ら政治責任を明確にし、住民の血税から支払った不当な支出は行政の基本を揺るがすもので、認めることはできない。賠償金を町へ返還させることを求める。

討論

反対

▼日本の裁判は3審制である。議会が最高裁への訴訟を阻んだため、その機会を失ったのであり、町長に責任はない。

▼最高裁に委ねるのは当然の権利である。勝訴すれば慰謝料100万円は支払う必要はなく、納得いく決議ではない。

賛成

▼経常収支比率は99・1％になっている。1円たりとも無駄にできない。「人事権の濫用にあたり違法」との判決に対して、町長の言い分には無理がある。

▼住民から「町長自ら責任を取るべき」との意見が多々ある。

1月臨時会

小型船舶係留施設とその付帯施設指定管理者が決定

1月臨時会は31日に開かれ、3議案が提出された。

小型船舶係留施設管理者の指定

可決

この施設の管理者への応募は2社あった。選定委員会で1社に決定し、昨年の12月定例会に提出された。議員からは説明不足、2社の得点が小差であるなどの意見が出て否決となった。

その後、町は説明不足を解消するため常任委員会で詳細な説明を行い、理解を求め再度提出。その結果、賛成多数で可決となった。

討論

反対

▼地元業者育成の観点から漁業組合との参画を考慮すべきである。

賛成

▼この種の業者の実力は伯仲している。選定基準に何ら問題はなく、得点がわずかな差であっても選定は有効である。

補正予算1461万円増の専決処分

可決

平成22年度一般会計補正予算の専決処分は、地方負担軽減を図るため、国の「子宮頸がん等ワクチン接種緊急臨時特例交付金」による県の「ワクチン接種緊急促進基金」から助成を受けて実施したもの。これを全会一致で承認し、予算総額は、1461万円増の102億5081万3千円となった。

工事請負契約変更

可決

昨年6月定例会で議決した防災行政無線設備整備工事について、近畿総合通信局の指導により、集落用可搬型無線機8台を1台に、携帯型を5台から16台に変更し、契約金額1億2909万1200円を1億2682万50円に変更することに全会一致で可決した。

議案の審議結果など【平成23年1月臨時会　3月定例会】

（可…可決、修…修正可決、否…否決、承…承認、不…不同意、適…適任、○…賛成、×…反対、退…退席）

	議案名など		賛成	反対	議決結果	議決日	1 杉原延享	2 勝樂恒美	3 毛利豊	4 福原隆泰	5 松本かをり	6 河野照代	7 渡辺文子	8 田中久子	9 中西美保子	10 河南博	11 宮尾尚子	12 古川美智子	13 岡田千賀子	14 小原健一	15 藤原秀策	16 藤田博	17 永谷修	18 小西茂行
1月臨時会	町長提出議案	専決処分の承認（平成22年度一般会計補正予算（第8号））	17	0	承	1/31	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負契約変更（播磨町防災行政無線設備整備工事）	17	0	可	1/31	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小型船舶係留施設及びその付帯施設指定管理者の指定	9	8	可	1/31	－	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×
3月定例会	町長提出議案	副町長の選任同意	8	9	不	3/1	－	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×
		人権擁護委員候補者の推薦	17	0	適	3/1	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		播磨町学童保育所の設置及び管理に関する条例制定	8	9	否	3/18	－	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×
		播磨町特別会計条例の一部改正	17	0	可	3/1	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更	17	0	可	3/1	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成22年度一般会計補正予算（第9号）	17	0	可	3/1	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成22年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	17	0	可	3/1	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成22年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）	15	2	可	3/1	－	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成22年度介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	17	0	可	3/1	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成22年度水道事業会計補正予算（第2号）	17	0	可	3/1	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		特別職に属する非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	5	12	否	3/18	－	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
		平成23年度一般会計予算　委員会修正案	9	8	修	3/18	－	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○
		平成23年度一般会計予算　上記修正部分を除く原案	17	0			－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成23年度国民健康保険事業特別会計予算	15	2	可	3/18	－	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成23年度財産区特別会計予算	17	0	可	3/18	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成23年度下水道事業特別会計予算	17	0	可	3/18	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成23年度介護保険事業特別会計予算	17	0	可	3/18	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成23年度後期高齢者医療事業特別会計予算	15	2	可	3/18	－	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成23年度水道事業会計予算	17	0	可	3/18	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提出議案	杉原延享議長の不信任議決を求める決議	9	7	可	3/18	退	×	－	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○
		町長に対して、行政処分取消請求裁判の政治責任明確化に関する決議	9	8	可	3/18	－	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○
	委員会提出議案	播磨町議会会議規則の一部改正	17	0	可	3/1	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		播磨町議会委員会条例の一部改正	17	0	可	3/1	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	選挙	兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	／	／	／	3/18	当選人：播磨町長　清水ひろ子																	

※播磨町議会の現議員数18人。
※議長は採決に加わりませんので、「－」で表示しています（議長＝議席1番 杉原延享　議長不在のとき、副議長＝議席3番 毛利豊）。
ただし、賛成と反対が同数の場合には、議長が決します。

議員控室のパソコン使用事実確認調査

報告

議会運営委員会からの答申
（平成23年1月14日付）

議員控室のパソコン使用の事実確認調査について（答申）

平成22年4月15日付播議第19号で諮問のあった標記のことについては、検討の結果、次のとおり答申する。

本委員会は、議長からの諮問を受け、議員控室のパソコン使用の事実確認調査について7回にわたり委員会を開催し、事実確認の究明に努めてきたところであるが、結論に至らなかった。

答申の内容は満足できるものではありませんが、これ以上の調査は、捜査権のない議会として限界であり、この問題発覚後はパソコンの私的使用は認められず抑止効果があったものと思われます。

3月9日に全員協議会を開催し、全議員にパソコンの私的使用禁止を強く求めるとともに何事においても公私混同しないことを申し合わせ、これをもって調査を終了したことを住民の皆様にご報告します。

議長　杉原延享